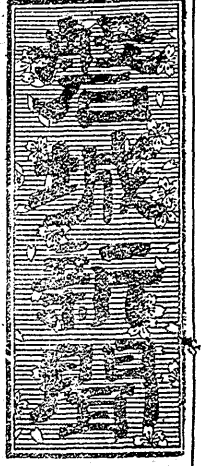


刊夕



夕刊 行發日八十月一

上代歌謠に就いて

武田 生

琴歌譜に載する所の歌曲は、大歌所所管の歌曲なるの根柢を爲すところは、本...

鳥

島田 忠夫

鶴のこゝろめづる人もうつくしき、春の衣の池に映らふ

二月題詠

梅 よろこびの歌 (制限なし)

久し振りで長い袂の着物を鳴らし過ぎ去る。町を若、弟と女中とで家を出はざわつてゐる。

入幡神社のお祭

石山小夜子

一年は八幡神社のお祭 今日八幡神社のお祭は、毎年九月十四日と十五日...

薄日射すしませきの部屋にこもりけり。同 初寫真只わけもなく笑み...

虫の聲 宿雀来たりし年のありにけり。水明 萩島の一樹にむるゝ日...

石鶏幼年句會 以下一断句 初寫真めでたくとれて...

講談 戸隠山の怪秘 丸山寛雄作 眞木浪書



止められたものだ。千曲川の流流のほとり茶にこぼれしもの。...

クズリはホシ 子供には 子供のクズリ ☆ホシ小児専門薬

高柳耳鼻咽喉科 専門耳鼻咽喉科 志賀醫院

ホシエンストアー平支部 星製薬株式会社 任務断行期成團

